

子どもたちに伝えたい防災のこと 2013

日時：2013年3月10日（日曜日）11:00-14:30

場所：アリオ倉敷センターコート、野外ステージ前広場

「子ども防災ネットワークおかやま」の活動は、全労済岡山県本部が、県内のNPOなどに呼びかけて、2011年10月にはじまりました。自然災害の少ない岡山でも、毎年3月には、東日本大震災で亡くなられた方のご冥福を祈り、子どもたちにそれを伝え、防災・減災について家庭で考える機会にすること。そして、子どもたちが自然の脅威の前でも、自分で考えて行動し、希望を持って生きていく勇気を持てるように、さまざまなアプローチから活動を進めています。



伊東香織 倉敷市長



全労済岡山県本部 石田一 本部長



主催：子ども防災ネットワークおかやま <http://www.kodomobousai.net/>

共催：倉敷市／全労済岡山県本部

後援：岡山県、岡山県教育委員会、岡山市、笠岡市、津山市、岡山県労働者福祉協議会、山陽新聞社、RSK 山陽放送

朗読劇「稲むらの火」

稲むらの火は、小泉八雲原作の南海地震津波の逸話を描いた話。朗読は、フリーアナウンサーの遠藤寛子さん。人形劇団ひとみ座の元座長で、演出・脚本も手がける俳優の伊東史朗さん、ハンスの冒険のハンス役の清水由樹さんが、デフ・パペット・シアターひとみの人形劇「稲むらの火」の人形と一緒に参加。短い時間でしたが、迫力のあるやり取りに多くの人が足をとめている姿が印象的でした。



防災体験プログラム

一般社団法人チカクが日頃行なっている防災体験プログラムのデモンストレーション。全労済岡山県本部と岡山市子どもセンターのみなさんといっしょに、防災士・三村芳恵さんが説明しました。これまで体験プログラムに伺った県内の幼稚園から、親子で参加してくれた子たちもいて、子ども防災ネットワークおかやまとしての活動が、地域に根ざしていることを実感させられました。



防災体験ラリー

屋内の会場と屋外の会場をつないで、防災体験ラリーを実施。家族で、話しながらタワーを見つめる家族の姿が目につきました。



防災紙芝居

昨年に続き、防災紙芝居で参加した角南達也さん。野外では自転車に乗って、屋内では椅子を使って、子どもたちに防災のことを伝えていました。



救助犬の活動を知ろう

Search & Rescue Dog Kibi.auf の皆さんによる災害救助犬のデモンストレーション。

佐藤委子代表のお話を、清水由樹さんが聞きながら進めていきます。救助犬たちの訓練の様子のほか、災害の時でも困らないための、犬との過ごし方など、有意義なお話も聞けました。



シローおじさんの一人芝居

シローおじさんの一人人形芝居。「花咲かじいさん」は日本の室持ち時代に期限を持つ、人形芝居の復刻版だとか。そして「パンチ君おおあばれ」は、イギリスの伝統的人形劇で、伊東史朗さんは日本で唯一のパンチ劇の奏者なのだそうです。





綾さんの伸びやかで深みのある歌声。心地良く包まれるような hotta さんのサウンド。2010年12月3日に行われたキックオフセミナーのオープニングテーマとして、東日本大震災後に発表された「雪になっても桜になっても」を使わせていただいたのが、子ども防災ネットワークおかやまと i-nos の関わりができたきっかけでした。

チラシ、ポスターなど

子どもたちに伝えたい 防災のこと 2013

3/10日 11:00~14:30

アリオ倉敷センターコートほか
子ども防災ネットワークおかやまは、
これまで様々な手法で岡山の子供たちに
「防災」の大切さを伝えてきました。
東日本大震災から2年。親子で一緒に
楽しみながら「防災」のことを学べる場を
ご用意して、みなさまをお待ちしています。

防災ステージ 観覧無料

シローおじさんの一人人形芝居

i-nos 復興支援ライブ

防災体験ラリー 体験無料

～最初の教日を生きたために～

参加者にはもちろんステキなプレゼント☆

サイバイルクイズ
防災体験プログラム

復興支援

陸前高田市図書館ゆめプロジェクト

防災ステージ 観覧無料

シローおじさんの一人人形芝居

i-nos 復興支援ライブ

防災体験ラリー 体験無料

～最初の教日を生きたために～

参加者にはもちろんステキなプレゼント☆

サイバイルクイズ
防災体験プログラム

復興支援

陸前高田市図書館ゆめプロジェクト

子ども防災ネットワークおかやま
お問い合わせ 子ども防災ネットワークおかやま事務局(全労済岡山県本部内)
TEL 086-254-2155 FAX 086-253-3987 URL <http://www.kodomobousai.net>
〒700-8569 岡山県岡山市北区駅元町5-26 全労済岡山県本部(受付時間 9:00~17:00(土・日・祭日を除く))

「子ども防災ネットワークおかやま」は、全労済岡山県本部が2011年3月の東日本大震災後、県内の子育て支援に携わる4団体に委嘱し、それぞれ得意分野を活かして2011年10月から防災教育活動を行っています。
※4団体→NPO法人子ども防災ネットワーク岡山県本部、NPO法人岡山県子ども防災センター、NPO法人子ども防災センター、一般社団法人オカヤマ

子どもたちに伝えたい防災のこと2013

日時 2013年3月10日(日) 11:00~14:30 場所 アリオ倉敷センターコート、イベントステージ広場

防災ステージ 観覧無料

震災の犠牲者のご冥福を祈り、震災の教訓を後世に伝える活動をご紹介します。子どもたちには楽しい人形劇も。

i-nos復興支援ライブ
「雪になっても桜になっても」をテーマにした、東日本大震災後、被災地を巡る中で感じた思いを、i-nosのメンバーが歌で表現します。

朗読「福むらの火」
1894年の南海地震津波の被害をもとにした「福むらの火」の物語。岡山県倉敷市で活躍した、消防士・救急隊員・医師の活躍を描いた小説。岡山県倉敷市で活躍した、消防士・救急隊員・医師の活躍を描いた小説。

人形劇「シローおじさんの一人人形芝居」
「福むらの火」の物語を、人形劇で表現します。

防災体験ラリー 体験無料

日本の国土を知り最初の教日を生きたために、防災体験プログラムをご紹介します。参加者にはもちろんステキなプレゼントがあります！

防災体験プログラムとクイズ
子ども防災ネットワークおかやまが、岡山県内の各団体に、防災体験プログラムとクイズを配布しています。参加者にはもちろんステキなプレゼントがあります！

災害救助犬の活動を知ろう
災害救助犬の活動のデモンストラレーション。地域に定着した災害救助ボランティアチームを招いて、2011年4月岡山で結成された「Search&Rescue Dog Kibi」に所属する救助犬をご紹介します。クイズでは救助犬のクイズも。

復興支援

被災地の図書館再建のために、あなたにできることがあります。

陸前高田市図書館ゆめプロジェクトとは...
東日本大震災の大きな津波により壊滅的な被害を受けた陸前高田市では、多くの公設施設と同様に、図書館も大きな被害を受けました。このプロジェクトは、被災地にいた被災者の家族の支援を、図書館再建に役立てていくために、陸前高田市に寄付するものです。アリオ倉敷でのイベント会場での受付(3月10日11:00~14:30)に限り、被災地に寄付する書籍や寄付金を受け付けます。

タイムスケジュール (観覧時間 11:00~14:30)

センターコート
11:30 シローおじさん一人人形芝居
12:00 朗読「福むらの火」
13:00 i-nos復興支援ライブ
14:00 防災体験プログラムとクイズ
イベント広場
11:00~13:00 災害救助犬の活動を知ろう
※会場内には、防災体験プログラム、防災体験プログラムなど

岡山の子供たちに人形劇「津波」のことを伝えたい！観覧のご応募お待ちしています！！

無料ご招待！人形劇公演「福むらの火」に400名様をご招待します！！
日時 2013年5月12日(日) 11:00(1回目) 14:00(2回目) 14:00(3回目) 観覧料 200円(税込)
場所 岡山県立図書館 岡山県立図書館
天幕がけの舞台装置と「福むらの火」の物語が盛り込まれた人形劇「福むらの火」に400名様をご招待します。天幕がけの舞台装置と「福むらの火」の物語が盛り込まれた人形劇「福むらの火」に400名様をご招待します。天幕がけの舞台装置と「福むらの火」の物語が盛り込まれた人形劇「福むらの火」に400名様をご招待します。

◆ Vision 岡山 2013.3.4

子ども防災ネットワークおかやま

3月10日に防災イベント 「生き延びる知恵」を学ぶ

子ども防災ネットワークおかやま（事務局・全労済岡山県本部内）は、3月10日午前11時～午後2時半、倉敷市寿町12-2のアリオ倉敷センターコートなどで「子どもたちに伝えたい防災のこと2013」を開く。

親子で楽しみながら「防災」について学べる場として企画。東日本大震災復興支援でリリースした配信限定曲「雪になっても桜になっても」が話題になった2人組ユニットi-nos（アイノス）のミニライブ、小泉八雲が描いた南海地震津波の実話をもとにした「稲むらの火」の朗読、人形劇などのステージイベントのほか、災害時に最初の数日を生き延びる知恵を、クイズや体験プログラムで学んでもらう。

同日は、岩手県陸前高田市の図書館再建プロジェクトで、読み終えた書籍の寄贈も受け付ける。問い合わせは事務局（電話 086-254-2155）へ。

同ネットワークは全労済県本部が東日本大震災後、県内の子育て支援に携わる4団体に呼び掛けて設立。県内の幼稚園・保育園での「防災体験プログラム」など防災教育活動を行っている。

50周年イベント始動 第1弾は「晩さん会」



12月に創業50周年を迎える西倉数
国野ホテル（倉敷市中央1-1-14、倉敷第二社長、
資本金4億5000万
円）は、4月7日、
記念イベント第1
弾としてホテルオ
ーク・桜田総料理
長・桜田悦雄氏を招き晩さん会を催す
国内外の貴賓を料理でもてなす

現在、「今にも残るあのサービス、あのおもてなし」をテーマに作文を募集。同ホテルでの経験に親ずる、40文字程度の作文を応募すればよい。受賞者には同ホテルスイートルーム宿泊と食事への招待券などの賞品を用意する。

締め切りは3月31日。

そのほかの主な記念イベントは次の通り。

道島では3月7日の香りを生かしたおかし

かきを作ろうと企画した。香りを生かすためのたねがついたままの通商に香りを頼るのも楽しめ合わせる機に

松本和裕 (2月)▷ディナーコンサート (10月26日)▷地域情報画一くらしに咲く秋の花 (10-11月)▷小学生の職場・調理体験 (8月)▷記念誌発行 (11月)▷記念式典 (12月3日)

**運島ごぼう入りおかし
県産品のみで商品開発**

糸重と製造販売の山本製菓（赤
磐市下市381-5、山本正明社長、資本金
1009万円）は、このほど、運島ご

うを使用した米菓「ごほうおかし」を発売した。

同社の山本高広専務が通島ごほうをメインに岡山県産品だけを厳選したお

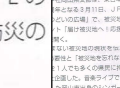
日本料理 

岡山県北区新屋敷1-10-22 ☎245-1122

日本料理 いしあ
岡山市北区新屋敷1-10-22 ☎ 245-1122

本部 災2周年で支援イベント
表三が店舗メッケー

2の



「社会問題調査部は、東日本大震災となる3月11日、J日岡と日岡の広場で、被災地援け「届け被災地へ」と題し、募金を集めた。

「知らない被災地の現状を知らず、善悪と『被災地を忘れない』という人でも多くの市民に持つ企業でした。音楽ライブでは、

中野

[illegible]

066-262-8228)へ。 での「防災体験プログラム」など防災教育活動を行っている。

「コム」など防災教育活動を行っている。

◆ 山陽新聞 2013.3.11

◆ 読売新聞 2013.3.11

親子で生き残るため

親子で楽しみながら防災について学ぶイベント「子どもたちに伝えたい防災のこと」が10日、倉敷市寿町の大型商業施設「アリオ倉敷」で行われた。11日で発生2年になる東日本大震災を教訓にしようと、全労済県本部や県内の子育て支援NPO法人などで行く「子ども防災ネットワークおかやま」が主催した。

会場には、災害時に生き抜くために必要な知識を問う「サバイバルクイズ」を掲示。同ネットワークが指導役となり、木材に挟まった人形を助けようと小型ジャッキで木材を持ち上げる訓練などが行われた。

地震で割れたガラスが床に飛び散った場合を想定した防災体験プログラムでは、子どもたちは卵の殻が「引き詰められた床を「痛い」

と言いながらはだしで恐る恐る歩き、担当者に「靴を履いて逃げないといけないね」と声をかけられていた。

玉野市立田井小1年の川西優輝君(7)は「今日教えてもらったことを使って助けたい」と話していた。



小型ジャッキを使って救助訓練を体験する子ども（倉敷市寿町のアリオ倉敷で）

防災の大切さ
子どもたち学ば
倉敷
東日本大震災を教訓
に防災について学ぶ
「子どもたちに伝えたい
防災のこと」2011
3が10日、倉敷市寿
町のショッピングセン
ター・アリオ倉敷であ

り、子どもたちが体験 備えの大切さを学ん
て、日ごろからの だ。



屋外には
シートに卵
卵の殻の上を
歩いて災害を
疑似体験する
子ども

の殻を敷き、ガラスなどが散乱する地震直後の状況を再現。はだで歩き、危険度を体験した。井原市・高屋稚園の渡辺孝史ちゃん(5)は「足の裏がちゅちゅした。逃げるには靴をちゃんと履く」

なと話をしていた。
屋内では「避難所に
持って行くのに適した
食糧物は」「家族に無
事な知らせる方法は」
など、被災時を想定し
た質問に答える防災ク
イズナリーを実施。震
災復興支援ソングを歌

るバンドのミニライブなどもあった。

イベントは、金芳落県本部と県内の子育て支援団体でつくる「子ども防災ネットワークおかやま」が主催し、昨年に続いて開催した。(土井二義)

RSK 山陽放送 ニュース 2013.3.10



KCT ワイド 2013.3.11

